

時代をこえて愛され続ける、保護殺菌剤 **園芸用殺菌剤**

ジマンダイセンTM 水和剤

3つのポイントが自慢です。

① 幅広い病害を予防

りんごで10病害、みかんでは8病害に適用。
野菜でも広範な病害防除に役立ちます。

② 優れた製剤技術

葉への付着と耐雨性に優れた製剤粒子構造のため、効果の持続力に差が現れます。

③ 多彩な作物に登録

広範な作物に登録があり、果樹や多種類の野菜などで幅広く使用されています。



ダウが製造・供給するマンゼブ製剤が配合された製品のマークです。40年以上に渡り培われた独自の製剤技術と、積み重ねられた製剤改良努力により優れた保護殺菌剤の効果を提供します。



保護力が自慢です。^{ジマン}

関連製品 ジマンダイセーフロアブル

作物への汚れが少ない製剤として、ぶどう、トマト、きゅうり、メロン、きくに登録があります。

TM:ダウ・アグロサイエンス・エル・エル・シー商標

製造・販売 **ダウ・ケミカル日本株式会社**
 ダウ・アグロサイエンス事業部門
 本社/〒140-8617 東京都品川区東品川2丁目2番24号
 天王洲セントラルタワー <http://www.dowagro.com/jp>
 支店/札幌・東北・東京・名古屋・大阪・福岡 営業所/松山

取扱

※収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前日数と、本剤及びマンゼブを含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数(倍)	使用時期*	総使用回数*
みかん	黒点病、黄斑病、小黒点病	600~800	30日	4回
	ミカンサビダニ	1,000		
	そうか病	400		
かんきつ (みかんを除く)	褐色腐敗病、そばかす病、赤衣病、 チャノキイロアザミウマ、炭そ病(さび果)	400~600	90日	
	黒点病、黄斑病、小黒点病	600~800		
	ミカンサビダニ	1,000		
りんご	斑点落葉病、赤星病、黒星病、黒点病、 モニリア病、すす点病、すす斑病	500~600	60日	3回
	輪紋病	500		
	褐斑病、炭そ病	600		
なし	赤星病、黒星病、黒斑病、輪紋病	400~600	45日	5回
かき	炭そ病、落葉病	400~800	45日	2回
	黒点病	400		
小粒種ぶどう(露地栽培)	晩腐病、褐斑病、さび病、 べと病、黒とう病	1,000	60日	2回 (開花後1回)
大粒種ぶどう(露地栽培)				
ぶどう(施設栽培)	褐斑病、さび病、べと病、黒とう病		開花前まで	2回
びわ	たてぼや病	600	落弁期まで	
マンゴー	炭そ病	800	45日	
あけび(果実)	そうか病	500	60日	
トマト	疫病、葉かび病、輪紋病	800	前日	2回
きゅうり	炭そ病、褐斑病、疫病、黒星病、つる枯病	600		
	べと病	600~800		
いちご	じゃのめ病、炭そ病	600	仮植栽培期 但し76日	6回
メロン	炭そ病、べと病、つる枯病、疫病、斑点細菌病	400~600	7日	5回
すいか	炭そ病、べと病、つる枯病、疫病、褐斑細菌病			
まくわうり	炭そ病、べと病、つる枯病、疫病			7回
かぼちゃ	炭そ病、べと病、つる枯病、疫病	600	30日	2回
キャベツ	べと病	400~600		3回
はくさい	べと病、白斑病、黒斑病	600		1回
ねぎ	べと病、さび病、黒斑病			3回
たまねぎ	べと病、さび病、黒斑病、 灰色腐敗病、灰色かび病	400~600	3日	5回
	白色疫病			
にんにく	葉枯病	400~500	7日	
らっかせい	そうか病、褐斑病	400~600	14日	3回
そらまめ、未成熟そらまめ	さび病、輪紋病			
いんげんまめ	炭そ病	600	30日	4回
だいず	べと病	400	45日	
あずき	茎疫病	400~600	30日	3回
	さび病	400		
アスパラガス(施設栽培)	斑点病	500	収穫終了後 但し秋期まで	6回
	茎枯病、褐斑病			
ばれいしょ	夏疫病	400~600	7日	10回 (無人ヘリ3回)
	疫病	100(25ℓ/10a)		
てんさい	褐斑病	400~600	30日	5回
		125(25ℓ/10a)		
やまのいも	葉疫病、炭そ病	400~600	21日	4回
ばら、さく、カーネーション	黒星病、さび病、べと病、炭そ病、灰色かび病	400~600	—	8回
シクラメン	炭そ病	500	—	1回
トルコギキョウ				
斑入りアマドコロ	褐色斑点病、斑点病	400	発病初期	8回
ベンジャミン	斑点細菌病		—	
すぎ	赤枯病	400~600		2回

◎本資料は2007年8月現在の知見に基づき作成されています。*無人ヘリコプター散布については他資料をご参照ください。

使用上の注意

- 石灰硫黄合剤、ボルドー液、チオジカルブ剤との混用はさけてください。
- ボルドー液との7日以内の近接散布は薬害を生じるおそれがありますのでさけてください。
- 極端な高温多湿の条件下では、軟弱幼苗に薬害のおそれがあるので注意してください。
- トルコギキョウに使用する際は、葉斑による汚れが生じるので採花前の散布はさけてください。
- ばれいしょに対して希釈倍数100倍で散布する場合、およびてんさいに対して希釈倍数125倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した垂用型の地上液剤散布装置を使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。散布器具の洗浄水等は河川等に流さないでください。また、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。

安全使用上の注意



- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 薬液調製時及び散布の際は、保護眼鏡、農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに、保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗顔・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものと分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管ください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 空袋は圃場等に放置せず、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 防除日誌を記載しましょう。

成分について

ジチオカーバメイト系の殺菌剤で広範な糸状菌による植物病害や、一部の細菌病に予防効果を発揮します。

殺菌作用

- 複数の殺菌活性作用を持ちます。
- ◎細胞内のエネルギー代謝阻害作用
- ◎必須微量元素との結合による作用

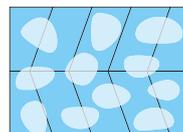
耐性菌対策

市販以来、国内・海外で耐性菌を生じた事例がありません。耐性菌対策の基幹剤として幅広い分野で活用されています。

製剤上の特長

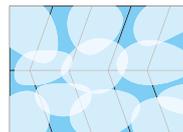
製剤粒子の平均粒径は、1~3ミクロン以下。作物への薬剤付着、耐雨性を向上させるため補助成分配合。

- 微細な粒子は植物表面にしっかり付着する性質を帯びる
- 薬液が乾燥すると、製剤微粒子は幾重もの層になって濃厚に付着



散布・乾燥後(製剤粒子が層になって付着)

▼ 降雨(灌水)



葉斑上から製剤粒子は徐々に溶け出し分散・再固着

▼ 降雨(灌水)



さらに均一な薬剤保護層を形成(降雨のたびに付着量は徐々に減少)→再散布

※植物病害には、降雨(灌水)によって感染を助長するものが数多くあります。降雨(灌水)による製剤微粒子の分散は、感染危険部位の保護に役立ちます。